

今年のイースター<sup>※</sup>は 4 月 5 日です。4 月 2 日で 2 歳になる孫の誕生日をかねてイースターイベントをやっているロス郊外のファーム(農場)に行くことになりました。パームサンデー<sup>※</sup>の快晴でそれほど暑くない快適な日曜日。出席した教会の朝の礼拝では二人の方が洗礼を受け、喜びを共にしたあと、夕方 18 時まで開いているというこの農場に向かいました。



※パームサンデー：この日は、イエス・キリストがイスラエル地域を伝道された短い公の生涯の終わりの時期に、エルサレムの都に入場した日。民衆が棕櫚(しゅろ：パーム = やし)の葉を道に敷き、イスラエル国の救世主として彼を迎えた故事から復活祭直前の日曜日をパーム・サンデー :Palm Sunday(枝の主日)と称したとされる。

※イースター：イエス・キリストが死後 3 日後によみがえった復活を祝う日のこと。春分の後の満月を過ぎた最初の日曜日とされる。風習としてイースターエッグと呼ばれるカラフルに染められたゆで卵を探すエッグハント(卵狩り)、またその殻を割らないようにして転がすエッグロール(卵転がし)という遊び等。卵は、生命の始まりを象徴していると言われ、殻の中にいる時間を経て殻を割って生まれてくる様子がキリストの復活を象徴しているとされています。卵はイースターうさぎが運んできたとされ、うさぎは多産であることから、古代から繁栄・多産・豊穡の象徴とされていました。







この農場のありとあらゆるところに飾られていた卵に象徴されている意味、

— イエス様が私たちの罪のために死んで復活され、  
そのため私たちは永遠の命を得ることができたこと —

この意味を 孫を含め、ここに遊びにきていた幼児たちが 自分のものとしてできる日がきますようにと祈ります。



こんな楽しい思いができたのは孫のおかげですが、その孫を与えてくださった主に感謝です。

## ハッピーイースター

「私はよみがえりであり、命である。

私を信じる者は、たとえ死んでも生きる。」ヨハネ 11:25

竹下弘美



## 折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00 ~ 13:00)

メール oriochurch@outlook.jp